

CHOCOLATE for PEACE

～ わたしたちのことをわすれないで！～イラクとシリアの子どもたちの声をチョコ募金で届けます



12/1 チョコ募金スタート

1口（¥550）のご寄付でチョコを1缶プレゼント！

六花亭のチョコレート（缶の直径 約5.5㍍：ホワイト・モカ・ミルクの3種10個入り）



絵を描いてくれた子どもたちをご紹介します



ルジェイン 10歳/シリア難民

ルジェインは、絵を描くことと勉強が大好きな女の子です。コロナ禍で長く封鎖されていた学校に戻れることを誰よりも楽しみにしています。愛と自由を表すお花が大好きなルジェイン。花には自由があり、この花のように自由にキャンプから出たいと願っています。

大きくなったら水頭症の妹シマーフのためにお医者さんになって面倒を見たいと考えています。

レンギーン 10歳/シリア難民

レンギーンは、2021年度のチョコ募金で虹のお花を描いたエリーンのお姉さんです。

妹と同様、絵を描くことが大好きで、たくさんの絵を描いています。一家は、2018年にエリーンの治療（白血病）のためにイラクのクルド自治区にやって来ました。レンギーンは、エリーンと一緒にJIM-NETハウス内の院内学級に通い、妹の勉強のサポートをしています。



ラウィー 11歳/急性リンパ性白血病/アルビル出身

ラウィーはもともとギターを習いたかったのですが、病気になり、化学療法を受けることになりました。化学療法が終わりに近づき、「JIM-NETハウスに来て院内学級で勉強をしたり、絵を描いたりしていると、病院や治療のことを忘れることができるんです」と話してくれました。

治療中はギターのことを忘れていたラウィーですが、最近では勉強の傍ら絵を描いたり、ギターの練習もしています。

サアド 9歳/特発性血小板減少性紫斑病/アルビル出身

サアドは、JIM-NETハウスで友だちと遊んだり、絵を描く時間が何よりも大好きです。

以前、病気による大出血を起こし病院に搬送され、緊急処置をされたことがありました。

チョコ缶のデザインにサアドの絵が選ばれたことを知り、大変喜んでおり、「来年も絵を描いてあげるね!」と言ってくれました。



チョコ募金は以下の活動に使われています



イラク小児がん支援
イラクの5つの病院への薬代などの
支援・貧困患者支援・医療従事者研修など



JIM-NET ハウス(小児がん総合支援施設)の運営
患者やサバイバーの教育支援・
心理ケア・家族の宿泊場所の提供など



シリア難民支援イラクおよび
シリアの難民キャンプへの医薬品支援・
妊産婦支援・女性のワークショップなど



福島支援福島の子どもたちを放射能から
守る保養や検診などの助成(福島基金)

チョコ募金へのあたたかい
お気持ちをありがとうございます。

WE21 ジャパンこうほくは今年も^{ジ ム ネット}JIM-NETの活動を応援しています